

「外国人材受入サポートセンター運営事業業務委託」企画提案競技に係る質問とその回答

番号	資料名称	該当項目	質問	回答
1	外国人材受入サポートセンター運営事業業務委託仕様書 1ページ	4 業務の内容 (1) 相談窓口の設置及び運営 ②対応する相談等	過年度における相談実績について、具体的な相談件数や相談者の属性、相談内容の傾向など共有可能な範囲で提示していただきたい	令和6年度は247件の相談があり、今年度も同程度で推移しております。 相談者については、企業の人事担当者や業界団体の担当者が多くを占めています。 相談の内容については、受入制度の違いや費用感を問うものが多いほか、育成就労制度に関する問い合わせも増えております。
2	外国人材受入サポートセンター運営事業業務委託仕様書 1ページ	4 業務の内容 (1) 相談窓口の設置及び運営 ③相談の対応方法	相談窓口の運営において、担当者が常時在席しない時間帯や、来所相談を予約制とする場合の運用について、県として想定しているルールや考え方はあるか。 具体的には、 ・来所相談は原則事前予約制とするか ・予約は何日前までの申請を想定しているか ・急ぎの相談への対応方法（電話・オンライン等）について、現時点での整理を教えてください。	窓口には訪問相談を除き、原則として担当者を常駐させなければならないこととしております。 また、セミナー等により出張している場合は、寄せられる相談に対しては電子メール、FAX、電話転送などの手段で受付できるようにしてください。 今年度は相談員が常駐し、随時相談が可能な体制としていますが、同じ時間帯に相談者が重複することをなるべく避けるため予約制としています。
3	外国人材受入サポートセンター運営事業業務委託仕様書 1ページ	4 業務の内容 (1) 相談窓口の設置及び運営 ③相談の対応方法	専門相談員の配置について、仕様書には「1名以上配置し、原則常勤とすること。」と記載があるが、予約の有無にかかわらず、開設時間中は常時相談窓口にて在席している必要があるか。 例えば、窓口対応を予約制とした上で、予約が入っている日に担当者が（県外から）設置場所へ来所し、相談対応を行うという運用でも差し支えないか。 また、今年度も予約制を採用されていると認識しているが、仕様に変更がない場合、現在の対応方法について教えてください。	

「外国人材受入サポートセンター運営事業業務委託」企画提案競技に係る質問とその回答

番号	資料名称	該当項目	質問	回答
4	外国人材受入サポートセンター運営事業業務委託仕様書 3ページ	4 業務の内容 (5) 業務の広報	センターにはすでにホームページがあると認識しているが、本業務における広報は、既存HPを踏襲・活用する前提での運用を想定しているか。 それとも、新たにHPや特設ページ等を構築することも想定しているか。 また、新設が可能な場合には、予算上の上限や留意点はあるか。	新たに受託先となった場合は、新規アドレスにより作成いただいた上で、必要に応じ、現行コンテンツの引き継ぎを行います。 ホームページ製作に係る経費については、委託料の中から支出していただくことになります。外注を予定している場合は、発注予定先から見積書を徴収して費用の積算に反映してください。内部制作の場合は実際に要する経費を適正に見積もってください。 なお、継続して受託先となった場合は、ホームページを継続使用することは可能です。
5	外国人材受入サポートセンター運営事業業務委託仕様書	全般	初年度および今年度の実績（相談窓口対応件数、専門家派遣件数、受入支援実行件数等）を可能な範囲で教えていただきたい。 あわせて、県として本事業において特に重視する成果指標（KPI）は、相談件数等の活動量を主としているのか、 それとも新規受入実行企業数や定着といった成果を重視されているのか等といった、県としての基本的な考えや、想定されている目安を教えていただきたい。	初年度（令和6年）及び今年度（令和7年9月末時点）における実績は以下のとおりです。 総相談件数 R6：247件 R7：148件 伴走支援数 R6：33社 R7：55社 採用企業数 R6：5社 R7：5社 成果指標については、県の新たな総合計画において、外国人材を雇用する事業所数を指標として定める予定としております。